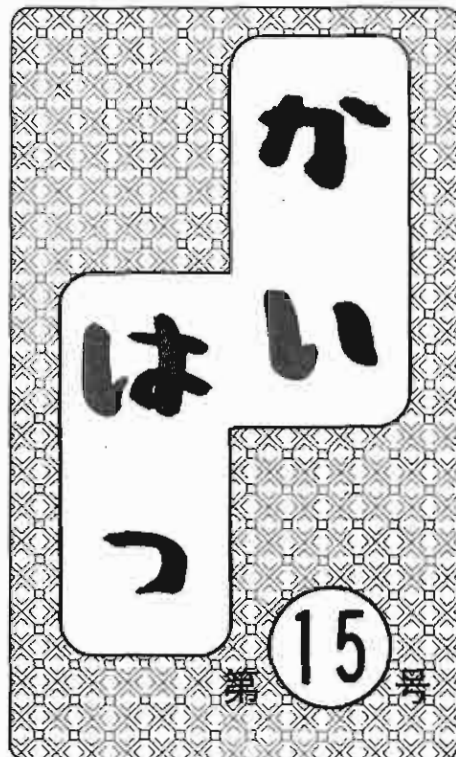




● 少年自然の家で（葵中）



題字 細川小 5年

岡崎市特殊教育

推進協議会

(昭和61年7月19日発行)



# じゃが芋の味

林 勝 巳

「先生、これを読んで。」  
 どやどやと部屋に入ってきた五人の子どもたち。先輩格のM夫が、一きれの紙を手渡してくれた。後に続く四人の瞳が、じっと見つめる。  
 「月よう日の給食のときに、ジャガイモを食べます。ぼくたちのきょうしつにきて、いっしょに食べてください。」  
 と書いてあった。  
 昨日、学級農園に、芋堀りに出かけたのだった。  
 「ありがとう。必ず行くよ。おいしいだろうなあ。」  
 M夫もH夫も、うれしそうに帰って行った。後に一人残ったI子が「先生、きつとだよ。」  
 と言って、指切りを迫った。  
 月曜日、朝から四組の教室では大忙し。水道の蛇口はフル回転。みんなで芋の皮むきに挑戦している。洗い終わった芋を運び出す子ども。鍋に水を入れコンロに火を点火するE子。それぞれが、統一された意志のもとに、各自の仕事に専念している。  
 だれ一人として傍観している者もなければ、雑事にかまける者もない。喜々として働き、生き生きと作業している。じゃがいもを食べるために、洗い、ゆでるといふ共通の目標に向かって、一人ひとりが真剣に取り組んでいる。  
 一人ひとりを見つめ、育てると言うが、言うはやすく、行うはむずかしい。その意味や方法は、案外手近なところに転がっているのかも知れない。それに、教師が気づかないのではなからうか。子どもたちの側からの発信に、無感動であるのではないだろうか。そんなことを考えさせられた。

給食の時間は、待ち遠しかった。じゃが芋の味は、また、格別であった。

学級紹介

# 友情

竜海中難聴学級

ぼくは、友だちをいっばい作る  
ことができた。6組だけでなく、  
他の組にも、友だちを作ることが  
できた。なぜかという、入学式  
が終わってから、ある友だちが、  
いろいろな友だちを、ぼくに紹介  
してくれたからだ。ぼくは、友だ  
ちに会った時、「ヨーツ」と言う。  
すると、友だちは、ぼくの名前を  
呼びます。

それから、ぼくは、部活に入ると、部活の中でも、すぐに、友だちができた。ぼくが、志村けんのまねをして、おもしろいことを言くと、みんなは、すぐ笑います。友だちとしゃべりながら、楽しくクラブをやっています。

ぼくは、小学校の6年生の時から、「友情」という言葉が大好きでした。そして、中学でも、この「友情」という言葉を大事にしていきたいと思っています。  
もつと、もつと、たくさん友だちをつくるぞ！

(A男の作文)



中学に入り、最初は何かと、とまどいがちであった子どもたちも今では、すっかり 中学の生活にも慣れ、授業や部活に、けん命に取り組んでいる。何をやるにしても、できるだけ、「自分たちで」ということで、子どもたち自身の人とのかかわりを大切にした指導をしているつもりである。

## 豊かな福祉の町づくりは 住民の参加から

岡崎市社会福祉協議会

会長 織田 平

福祉とは、市民の皆さんが幸せになることであります。福祉教育においては、福祉に対する理解や関心を高め、福祉にか

岡崎市社会福祉協議会は、このことを踏まえ社会的弱者を守り「社会全体の幸せ」を図ろうと努力いたしております。この意味で学校教育の場において、福祉教育の推進を図っていた

だけでは到底できません。市民の皆さんが自分たちの福祉は自分たちの手によって守るという気概をもってみんなが助けあって生きてゆく社会、そのような風土づくりに自発的に参加していただくなければ不可能であります。

現在、ボランティア活動の振興とともに、各方面で福祉教育の必要性が論じられ、学校、家庭、地域社会などで、さまざまな形での実践活動が行われております。

特殊教育部員によって編集された、中学生福祉読本「ふれあう心」の利用の手引きもついてあります。授業でどんどん使ってほしい本です。



豊かな福祉の町づくりの推進の一助となればと期待するものがあります。  
なお本年度は、厚生省の補助事業である「福祉ボランティアの町づくり事業（ボランティア事業）」を推進するよう取り進めております。  
寝たきり老人や痴呆性老人、ひとり暮らし老人などの生活問題介護問題への対応、障害者の地域生活でのノーマライゼーションの実現など、とくに住民参加による福祉の町づくり事業でございまして、広く市民の皆さん方のご参加を願っております。

# 特殊教育のニューウェーブ

## 朝の目覚め

竜南中 木河 淳治

## テラスの自然

岩津小 鴨下 淑子

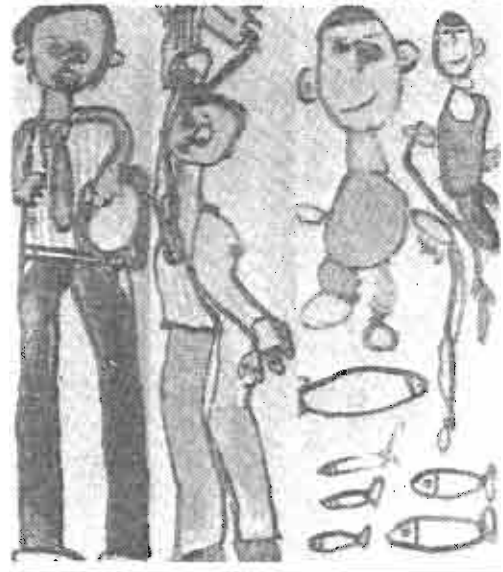
朝の友人である目覚まし時計がいつもと同じ5時半にメロディーを流し出す。生活リズムを崩してはいけないと緊張しているせいか本来ねぼうなのに時計のかけ声だけでベッドから抜け出す。これが目覚めの第一段階。

洗面・朝食・新聞を読むのが目覚めの第二段階であり、文字は目に入ってきて意味が頭の中に入っていないことがある。とにかくのんびりしていた学生時代との違いは、この時間帯であり学生生活の甘さを思い知らされる時だ。

なんと目覚めの締めくくりは朝の職員打ち合わせがすでに教室の中に入った時だ。朝のあいさつがすまないうちに「先生、あのね」と話しかけてくる生徒たち。この生徒たち一人ひとりを見つめていると今日一日のことを思い頭が急回転で始動するのだ。

「はっぱがないよ。」教室へ入るなり、子ども達のさげし声。大きくなった青虫の食欲はすごいものですね。子どもといっしょに取って来たアブラナはもう丸坊主で、茎に青虫が群がっています。あわててえさ捜しに出かけました。

テラスには、他にシャクトリ虫もいます。小さいと思っていたのに、三・四日も経つと、驚くほど大きくなるものです。遅れに遅れたジャガイモにはつぼみらしきものもやつとできました。ヘチマはいつの間にか大きな葉が半分も食われてしまいました。水かけを忘れないでやってくれるS君の報告を聞き、何かと驚かされることが多い毎日です。狭いテラスには自然がいっぱいいます。教えられることがたくさんあります。



### ともだち広場

梅園小三・四・五年のびのびした線画で、様子や、ふんいきがよくかかっています。

### とべみかんまん

根石小 六年

ぼくは、みかんまんになりたいです。つよくて、とべて、はしるのがはやくて、あたまがよくて、ぼくは、みかんまんになりたいです。みかんまんのじやくてんは、およぐことです。さむいこともです。みかんまんのぶきは、くちからたねミサイル、めからたねビームです。みかんまんのとぶじそくは二〇〇キロです。

みかんまんは、まいあさはみがきをしています。ぼくは、よくはみがきをわすれることがあるのではみかしいです。

「みかんまん、たすけて。」というと、たすけにきてくれます。はしるはやさは、一三〇キロです。ぼくは、はしるのがおそいので、みかんまんのようにはやくはしりたいです。

### 学級スナップ

### 六ッ美南部小5の4

## ぼくらわんぱく六南っ子

三・四・五・六年と男子一名ずつの四名の学級です。去年までは女子が一名おりましたが、卒業して中学へ行ってしまったました。四月の初めはちよつとさびしかったが、今は男子ばかり四名でなれてきました。

放課になると運動場へ出てあばれまわっています。あそびにむ中になつてチャイムがなつても教室に入らず、先生にしかられることがときどきあります。みんな元気でわんぱく小僧の四人組です。



# 特殊教育推進協議会が

## できたころ

志賀 忍



特殊教育の推進をはかるとともに適正な就学指導をめざして岡崎市特殊教育推進協議会が生まれたのは、昭和四十五年である。

前年度まで特殊教育部長を務めてこられた深津・柄沢両校長先生のご尽力により、三河の他の市町村にきぎけての発足であった。

六月二十六日、連尺小学校に各校の推進委員が集い、会則、業務計画、活動内容等を協議、引き続いて、会長(奥村校長先生)始め各役員を選出し活動がスタートした。

以来、総会は年度始めと年度末の二回開き、そのつど学者や医者の方々に講師に招き、講演を聞き研修にも努めてきた。

夏休みには実技講習会をもち、WISC知能診断検査方法の習熟適確な診断のための資料づくりを励んだ。

二学期に入ると早々に各校ともに就学指導のための資料づくり、個人診断票の作成を進めた。

作成された資料にもとづき愛蔵の大の高井、久留の各先生方の第一次の診断をおおぎ、新年を迎えるのが常であった。

第一次の書類上の診断結果から要面接者が出され、教育相談となる。教育相談は、一月下旬の土日の両日を終日使って開かれた。

連尺小の教室を借りての教育相談は、日のあるうちはまだしも、日が沈みかけると大寒の寒さが身にしみてきたものだ。

当初は、子供・親・担任の三者がそれぞれに面接したり、子供にはブレイや絵をかかせるなどひとりひとりに一時間ほどかけての教育相談であった。高井、久留両先生とも土・日の曜日にもかかわらず暗くなっても熱心に指導していただいたものである。

就学指導にかかわった子供の数は表の通りである。当初は在学児が対象であったが、地道な活動が浸透するとともに就学児の教育相

談も増え、五十年法制度化された就学指導委員会の発足とともに対象の中心が就学児に移ってきた。

岡崎市就学指導委員会発足までの五年間、特殊教育推進協議会の果たした業績は高く評価されるものである。

年度	診断による(49年度まで)		教育相談にかけられた			専門委員
	校数	人数	在学児	就学児	人数	
45	10	46	9	25	0	(大)西島 (雲)高井 久留
46	11	63	11	32	0	
47	8	49	9	25	1	
48	8	58	5	19	3	
49	10	62	7	16	5	(大)西島 (雲)高井 久留
50		921	14	20	15	(大)西島 (雲)高井 久留
51					56	(大)西島 (雲)高井 久留

# 子どもと親の集い 運動会

毎年みんなが楽しみにしている「うんどうかい」も今年で四回目をむかえることになりました。

今年九月八日(月)に行われますが、市制七十周年を記念して、例年以上に盛り上がったものにしていきたいと思えます。

「汽車ポッポ」「関所破り」

「今年はいすいかのあたり年」など、新しい演技も加わりました。親子そろって楽しい一日を過ごしましょう。

## 研究集会のご案内

○三教研夏委研究集会

「生きて働く力を育てる教育のあり方を求めて」

☆日時 八月四日(月)・五日(火)

☆場所 桑谷山荘

岡崎地区からは、赤崎晴彦先生(六名小)、鳥井裕之先生(矢崎を代表して提案されます)

○東海北陸地区研究会

「ひとりひとりの能力を可能な限り伸ばすには」

☆日時 八月七日(木)・八日(金)

☆場所 岐阜市民会館

岐阜南部コミュニティセンター

岐阜中央青少年会館

内藤朋子先生(連尺小)が岡崎を代表して提案されます。

## 市就学指導委員だより

本年度も十二名の医師、心理学者、福祉関係、特殊教育関係者で岡崎市就学指導委員会が構成されました。また適切な就学指導をおこなうため、委員のほかに十三名の現場の教師が協力員として委嘱され活動を開始しました。

在学児の進路相談(中学校・中等部への進学)についても行いますので申し込んでください。

●活動計画●

- 五月 就学指導説明会
  - 六月 養護学校見学会 (岡養・附養・安養)
  - 七月 教育相談会 (八日間)
  - 八月 幼・保育園児実態調査
  - 九月 特殊学級見学会
  - 十月 教育相談会 (七日間)
  - 十一月 就学指導委員会(四回)
- 教育相談は、働く婦人会館でおこなわれます。

